

本社制定 特別社会賞に豊橋交響楽団



特別社会賞、社会賞を選んだ選考委員会
＝東愛知新聞社で

同賞は、1985(昭和60)年11月、紙齢1万マサチケ、武蔵精密工業、トヨタ、西工業、アイゼン化学、オック、フォルクスワ、ケンタール、ブシバ、福井敏規氏(故人)。86年からは主に産業振

社会賞はイマダなど9事業所 独自の技術開発や起業家精神

同賞は、1985(昭和60)年11月、紙齢1万マサチケ、武蔵精密工業、トヨタ、西工業、アイゼン化学、オック、フォルクスワ、ケンタール、ブシバ、福井敏規氏(故人)。86年からは主に産業振

地域社会の各分野で貢献した人々をたたえ、東愛知新聞社の第24回(平成20年度)「特別社会賞」「社会賞」の受賞者が決まった。特別社会賞には豊橋交響楽団(森下元康音楽監督)、社会賞はイマダ(豊橋市神野新田町、今田充洋社長)など9事業所が輝いた。表彰式は19日、豊橋市公会堂で開かれる本社主催の第33回豊橋歌謡選手権大会の席上行われる。

文化交流活動で地域貢献

独自の技術開発や起業家精神

また、「社会賞」は長年にわたって奉仕活動を通じてきた人など、毎年分野を定め、目立たない地道な活動など繰り広げている個人、団体に贈るなどしてきた。

今年度の表彰方針は、特別社会賞が文化交流活動に貢献する団体・事業所、社会賞は1999年度から引き継ぎ、独自の技術開発や起業家精神で事業展開している事業所・団体と決め、同賞選考委員会、同賞の公正委員・神野信郎氏(豊橋商工会議所相談役)

社会賞

イマダ(豊橋市神野新田町、今田充洋社長)は、現在、小型荷重測定器の販売台数は日本、東南アジアで第一位、米国内では3位、欧州で5位。常に高い製品を提供したいという理念のもと長年の研究開発により高品質な製品を開発し、海外にも輸出している。また、非常時に備え、豊橋市との専用道路を開通、地元で活躍している。また、各種団体の活動に積極的に参加している。また、各種団体の活動に積極的に参加している。

め、藤村幸吾本社社長、井上剛志専務が、東三河の商工会議所・商工

会などからの推薦を、対象に厳正に審査し

白鷺(豊川市牛久保町、岩瀬淳一郎社長)は、バット製造メーカーとして50年以上の実績があり、国内のシェアは約25%。職人の持つ伝統技術と革新的な新素材や新技術を融合させ、数々の製品を創出してきた。近年では特に工場のR&D化を積極的に導入するとともに、若手職人の人材育

成にも注力した経営を実践している。

加山興業(豊川市南千両2、加山昌弘社長)は、東三河を中心に東海4県(愛知、岐阜、三重、静岡)のエリアで主に営業を展開、次世代のための環境保全を最大の責任と認識し、企業活動のあらゆる面で廃棄物の再資源化ならびに環境にやさしい処理技術の研究開発に努め、地域社会に貢献している。

マルヤス(新城市杉山、今泉保三社長)は、日本全国の土産菓子や特産品を使った商品や特色をアピールする商品にこだわって製造している。90%以上の商品が、オリジナル商品の。有名観光地お土産のウルトラマンせんべいは人気商品

御幸町、伊藤智恵社長は、半世紀にわたり、一貫して多品少量の高精度部品加工を展開。フライス、旋盤、研削、ワイヤー放電などの最先端工作機械を駆使し、アルミ・黄銅・樹脂の微細・精密加工を得意としてい

大陽印刷所(田原市神戸町、仲谷修社長)は、活版(活字)印刷からスタート後、時代にあったオフセット、フタム印刷、その後デジタル化などに進み、

高品質、高付加価値の点を置き、営業力、お客とのコミュニケーションを大事にする経営手法を推進。た、環境に優しい原料と廃棄物処理を行っている。